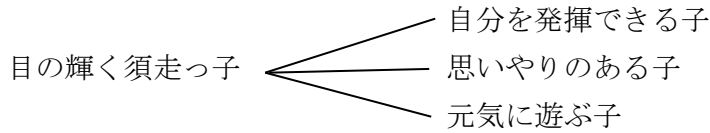


令和元年度 小山町立須走幼稚園評価「自己評価書」

小山町立須走幼稚園

1 教育目標



2 重点目標及び具現の方策

「意欲をもって遊ぶ子」の育成

(具現の方策)

- ・ 幼児一人一人の思いに寄り添い、その子なりの特性や発達を捉え、自己発揮できる援助を工夫する。
- ・ 様々な直接体験や感情体験を通し、教師や友達の話に興味・関心をもって自ら遊び出せるような保育を考える。
- ・ 家庭や地域（人や物）とのつながりを密にし、教育効果を高めていく。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	B	見通しをもった保育を心がけたが不十分であった。	B	A
保育指導	B	個々の発達や年齢に即した援助が不足していた。	B	A
保健管理・食事	B		A	B
安全管理	A		A	A
特別支援教育	B		B	
組織運営・情報管理	B		B	A
研修	B	園内研修を充実させて職員同士の意見交換を深めていきたい。	B	
教育目標・園目標	B	幼児教育の大切さを知らせていく方法を考えていきたい。	B	B
情報提供	B		B	B
保護者・地域との連携	B	地域の人とどのように連携を取っていくかが課題である。	B	B
子育て支援	B		B	A
施設・設備	A		A	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「職員アンケート結果」は項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
保育指導	個々の特性や発達状況をしっかり捉え、幼児理解をしていくことで的確な援助が出来ると思う。日々の振り返りを大切に明日に繋がっていく保育を目指していきたい。
特別支援教育	「気になる子」の何が気になるのかをしっかりと見極め、どのように対応していったらよいのか職員間で話し合いをしていく。活発な意見が出るよう話し合いの行い方を工夫していきたい。
情報提供	園内ではクラス便り、園便りで保護者と情報を共有しているが、地域に細かく発信が出来ていない。どのような発信の仕方があるか考えていきたい。

5 評価全体を通して

- ・評価を通して、保護者の考え方や園に求めていることが明確になったので今後の教育に活かしていきたい。
- ・職員間でも様々な考え方があるので、日頃からのコミュニケーションが大切になってくる。気軽に話ができるような関係作りが大切であると感じる。